

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

総選挙—自民・公明政治NO!の審判

総選挙は、自民・公明の政治にNO!の審判を下しました。これは、財界・大企業と

アメリカの利益を優先させ、地方切り捨て、弱肉強食、貧困と格差拡大の『構造改革路線』を続けてきた政治に対する国民の厳しい批判の高まりがあります。自民党支持基盤の崩壊とともに、戦後はじめ

て国民の力で自民党政治を終わらせた歴史的選挙結果です。これからの日本の進路を国民の力でつくりあげる歴史的な第一歩を踏み出しました。

誰に顔をむけるのか

—民主党政権

民主党を中心とした連立政権が誕生します。国民からの期待も大きい反面、不安も大きくだされています。民主党は、財界・大企業から企業献金を受け取っています。また、財界から通知表を受けて、財

界から高評価をうけようという姿勢も見られます。

国民の願いの実現には

国民の世論が重要

選挙では医療・年金など社会保障制度の確立や労働者派遣法の抜本改正など、雇用対策・景

育費問題が主要な争点に急浮上し、各党とも選挙政策にかかげるに至りました。

連立政権が打ち出した国民の願いにこたえた政策が具体的にすすむように、国民の世論・運動が引き続き重要です。

国民の願い

民主党マニフェストの危険な課題

衆議院比例定数削減

4割の得票で7割の議席を占めた今選挙。多様な国民の声を切り捨てることとなります。

日米FTAの推進

「自由貿易」の名の下に、日本の米と農業を壊滅させるとして、農業関係者から絶対反対の声が出されています。

憲法改正に賛成!

賛成と答えた候補者がほとんど

高校授業料の無償化

最低賃金の引き上げ

後期高齢者医療制度廃止

生活保護母子加算復活

障害者自立支援法廃止

労働者派遣法抜本改正

地球温暖化対策の強化

財界・経済界の強い反対も!

全教

2009年9月18日
NO、440

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

とよなか

全教豊中教職員組合

どうなる？ 教免法 (免許更新制)

しかぶせ、さらに多忙化に
追いやり、子どもの成長・
発達の保障という教育のい
となみがやせ細り、子ども
と教育に否定的な影響を与
える免許更新制度は廃止撤
廃しかありません。

民主党マニフェストは
「抜本的見直し」

9月13日付朝日新聞に民
主党の輿石参議院会長が
「現行制度を廃止する意向
を示した」と報道されまし
た。

民主党のマニフェスト
には「教員の資質向上のた
め、教員免許制度を抜本的
に見直す。」とあるだけだ
す。

二年前の政府案に
対する対案は！

今年度から本格実施となつ
た免許更新制。対象者から
は講習手続きや講習予約、
講習内容など更新にかかわつ
てさまざまな不満の声が寄
せられています。
全教は、2年前（安倍内
閣時）の法案審議の際から
反対の立場で運動をし、今
年度の実施凍結を求めてい
ました。
教員を十年ごとに失職す
るかもしれないという不安
におとしいれ、そのうえ、
受講できるかどうかわから
ないという二重の不安をお

民主党は二年前に対案を
出しています。民主党案に
ついて、佐藤泰介・鈴木寛

議員が説明をしています。
(2007年5月21日 左
資料)

今年、3月にも参議院に
同様の法案を民主党は提出
しています。

廃止求める声を
運動に！

「免許更新制」の見直し
ではなく、廃止を求める声
を広げていきましょう。

教育実務

民主党の更新制案

八年

教職大学院

学校経営
教科指導
生活・進路指導

いずれかの
専門免許状取得

十年—「専門免許」取得しない教員

※演習を含む約100時間の講習義務
未終了の場合、免許失効

「教員養成過程の改革案として、～中略～教員
の皆さんには、教育実務に就いて八年たった段
階で教職大学院において学び直していただき、
学校経営、教科指導、生活・進路指導のいずれ
かの専門免許状をさらに取得していただくこと
を原則としてまいります。

～中略～（定員確保、特別奨学制度などの条
件整備言及）

このような機会がありながら、十年経過して
もなお専門免許状を取得しない教員については、
演習を含む約百時間の講習を義務付け、それを
修了しない場合には免許失効といたします。」

「（政府案は）教員免許に十年間の有効期間を
設け、十年ごとに三十時間の更新講習を行うこ
とが盛り込まれておりますが、これは既にほと
んどの都道府県で行われている十年研修を追認
しているにすぎず、有名無実の政府案では教員
の能力向上は全く期待できません。」

2007年5月21日 国会議事録より

09豊能 教育研究集会

IN 豊中市民会館



8月22日(土) 豊中市民会館で09全教豊能ブロック教育研究集会を開催。オープニングでは、青年が中心となつて高校生が夢

をもつて歩む姿を演じました。

続く記念講演では木津川計さんが、『優しさとしての文化』と題して講演。長年国民に愛されてきた文化をアニメ(鉄腕アトム)、漫画(サザエさん)、映画(男はつらいよの寅さん)演芸(松竹芸能|藤山寛美)などをあげて、歌あり川柳

ありのわかりやすい内容でお話されました。文化を大切にしない冷たい橋下知事の姿が浮き彫りになりました。

午後からは、「たのしい授業」「小学校英語」「国語」「中学校」「健やかな心と体」「特別支援・障害

国民に愛される

鉄腕アトムは

「心やさし

ラララ

科学の子」

児教育」「集団づくり」「事務職員」の8つの分科会でレポートや報告に基づいて論議を深めました。充実させ5つ(写真・ヨガ・折り紙・教室掲示・音楽)に増やした実技講座はどれも大好評でした。集会には120名をこえる教職員が集まりました。

《参加者の声から》

○木津川計先生の話、「やさしい文化」が多くの人間をとらえるということを具体的例で話されてとてもよかったです。

○文化がどんどん切り捨てられて

行っていることに寂しさを憶えま
す。大阪のこの先はどうなってい
くのでしょうか。

○(国語分科会) 高学年の実践が
知れ、とても参考になりました。
とても細やかな教材研究をされて
いて、すごいなあと感じました。

○(低学年音楽) クラスで子ども
たちとやってみたくて遊びがいっ
ぱいです。最後にはおみやげをい
ただき、すーごくうれいす。



手元「置いておきたい」の一冊

学級づくり・授業づくり・教材研究に！

『あたらしい憲法のはなし』文部省

日本平和委員会発行

1945年のあの戦争が終わってから、64年。

「憲法は古くなった」「新しい環境権など、時代に合った内容に変えよう」

こういった声がこの間、国会議員（特に、先日の総選挙実施前の議員）の中で、出されてきました。

また、扶桑社・自由社から発行された「新しい歴史教科書」には、日本国憲法はアメリカから「押しつけられた」



ような内容の記述があります。

一方、憲法9条をこれからの会」の運動が全国で広がってきました。

わたしたちの生活・くらしと憲法。ふだんは遠い存在のような憲法ですが、平和も人間らしく生きる権利（基本的人権）も、今の日本国憲法で認められています。

教科書や資料集などによく載っている上の絵は、文部省（当時）が発行した「あたらしい憲法のはなし」（1947年発行）にある挿絵です。全国の中学一年生が教科書として学びました。



全体としては、当時の平和

と民主主義を求める国内外の世論の高揚を反映して、憲法の平和的・民主的条項の精神をいきいきとわかりやすく解説

しています。当時の中学生だけでなく、「教え子をわが子をふたたび戦場に送るな」と誓いあい、新しい平和と民主

主義教育への情熱に燃えていた教師、父母に明るい希望をよびおこしたといわれています。

子どもたちが歴史や現代の学習をする上で、是非教師が知っておきたい内容の本です。

出版されています。いろいろな出版社から「あたらしい憲法のはなし」は復刻

右写真は当時の教科書の表紙をそのまま復刻した日本平和委員会発行のもの。

初版発行 1972年

発行 日本平和委員会

定価 200円